

音楽を形づくる諸要素・特性」を総合把握するための「日本の音楽」の指導内容関係図>

1

<中学生

にとらえさせたい「日本の音楽を形づくる諸要素・特性」一覧表>

1

4

4

4

業構築図>

<「日本の音楽の諸要素・特性」を生かした授

6

<「日本の音楽」指導に有効な「日本の音楽を形づくる諸要素・特性」を踏まえた授業オブジェクト図>

1 3

3	3
4	1

Large empty rounded rectangular box for content.

3 今後の課題

1 所属校における研修成果の活用

2 東京都における研修成果の活用

3 自身における研修成果の活用

	A	6 22	A	8 30	A	B
	6		1 3			7

4	9		6 7			7
	3					
	8		7 6	1 3		

			2			
				3		
	1 13					
	2 23					
	3 9			3	2	
	1	1	2			
		2 3				

「音楽科」授業改善推進プラン

1. 教科における指導の重点事項

- 年間指導計画における幅広い音楽活動の充実。
- 観点別評価、音楽における学力構造の理解に向けた指導の工夫。

2. 教科の分析

(1) 教科における生徒の実態

- 毎時間の音楽の学習内容における取り組みは、関心・意欲をもって取り組む生徒が多い。
- 音楽の学習の中核をなす「感受」についての学習面が定着されていない。音・音楽を「知覚する」ことにおいては優れた生徒が多いが、特に「感じ取る」ことや「表現の工夫」については、自分の内面を外に放出することやその表現方法が十分でない生徒が多い。
- 合唱の技能習得への意欲はあるが、器楽表現や日本の音楽全般、鑑賞の楽曲理解に関する意欲や能力が十分に身につけていない。

(2) 内容的分析（領域・分野・単元・観点等）

【A 表現：歌唱：器楽：創作】

表現の活動の中で、歌唱（合唱）における技能に優れた生徒は多いが、器楽（特に和楽器やギター、リズム楽器）の基礎的な奏法が身につけていない生徒が多い。また、創作においては今までほとんどの生徒が学んできていないのが実状である。

【B 鑑賞】

鑑賞の中で、楽曲の構成要素を知覚したり、感じ取ったりしたことを自分の中でどのように総合的に味わっているかを人に伝えるという「批評文（感想文）」の能力が身につけていない。

3. 授業の改善策

(1) 指導上の課題

- ① 音楽科の指導内容の明確化とその指導方法の工夫。
- ② 幅広い音楽活動（歌唱・器楽・創作・鑑賞）の実現。

(2) 具体的な授業改善

- 本日の指導内容を、板書や自己評価カード・学習カードへ対応することで、明確化を図る。
- 音楽科としての特徴を生かした評価方法（『観察』『学習カード』『聴取質問紙』『質問紙（ペーパーテスト）』『面接』『批評（口頭批評・批評文）』『作品』『ノート・レポート・作文』など）を学習活動によって、工夫する。
- 特に、聴取質問などによって、音を伴った感じ取る音楽活動や「他の人にその曲のよさを学習内容のキーワードなどを用いて伝える」ことのできる活動を通し、生徒の鑑賞の能力を高める。本年度は、器楽活動（ギター、ドラムセット、三味線、箏）の指導の充実を図る。

(3) 補充・発展的な学習計画

- 授業において努力を要する生徒に対しては、『面接』で個別指導を継続して行う。
- 表現の技能や鑑賞の能力の優れた生徒については、課題学習などで音楽的興味の幅を広げさせる指導を施す。

中学校音楽科における学力構造図

音楽の授業を通して、どれだけの音楽の力が身についたかな？

観点3 「表現の技能」

＜歌う＞＜楽器を演奏する＞＜音楽を創る＞ために必要な技能を高めて音楽で表現する力

- 歌唱力
- 楽器の奏法を身につける力
- 合唱・合奏・アンサンブルの能力
- 読譜力（楽典的な力も含む）
- 記譜する能力
- 創作に関する能力
- 即興表現の能力 など

関連

観点4 「鑑賞の能力」

音楽を聴き取る力、音楽の良さや味わいなどについて、音楽に関する言葉などを用いて発表する力や文章に書き表す力

- 聴取力
 - ・音楽の楽曲全体の構造を理解したり、曲全体の雰囲気や美しさなどを感じ取ったり、両者を関連付ける力
 - ・音楽の多様性、様式、歴史的、文化的側面と関連付けて聴取する力
- 批評する力
 - ・音楽を価値判断したり、批評したりする力

観点2 「音楽的な感受や表現の工夫」

音楽的な感受

表現の工夫

「知覚する」

分かるかな？

- 音楽の諸要素の働き（音色・リズム・音と音とのかき合い・形式、速度・強弱など）を知覚する能力

「感じ取る」

感じ取れるかな？

- 音楽の諸要素（音色・リズム・音と音とのかき合い・形式、速度・強弱など）から生み出される雰囲気や美しさなどをイメージして、感じ取る能力

「表現の工夫」

表現の工夫をできるかな？

- 音楽から知覚し、感じ取ったことを基に、自分なりの思いや意図をもって、表現の工夫をする力
- 音楽から知覚し、感じ取ったことを基に、自分なりの意味を見出し、解釈しながら、聴き取る力

観点1 「音楽への関心・意欲・態度」

- 今、学んでいる学習内容そのものに対する関心・意欲・態度
- 今、学んでいる学習内容を身に付けるための音楽活動に対する関心・意欲・態度

(資料3)
題材名

声部の役割を考えて、美しい全体の響きを創り上げ、表現豊かな合唱創りをしよう!

教材名 **混声 部合唱「自由曲「**

全体合唱「夏の日の贈り物」「立川二中校歌」

年 組 No 氏名

今日の音楽授業の

僕の・私の目標!

	項目	月 日	月 日	月 日
観点 I	0 今日の合唱授業に関心があり、生き生きと意欲的に取り組む態度か	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
	① この曲に応じた発声ができ、自分のパートの音取りができていますか	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
観点 II	② 美しい言葉の表現(発音)を工夫して歌唱表現しているか。	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
	③ 歌詞の内容を味わって歌唱表現しているか。	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
観点 III	④ 各声部(各パート)の役割を理解して、歌唱表現を工夫しているか	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
	⑤ 全体の響きを感じ取って、豊かな歌唱表現を工夫しているか。	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
基本	⑥ 音色(声質)・リズム・旋律・音と音とのかわりあい・曲の構成を理解して、表現の工夫をしているか	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
	⑦ 速度や強弱の工夫をしているか	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
感想と課題	⑧ 曲想の変化を理解して、この曲にふさわしい表現を工夫しているか	◎-○-△-×	◎-○-△-×	◎-○-△-×
	感想 『授業が終わって、書き残しましょう!』 今日授業のはじめに立てた自分の目標をこの1時間で実現できたか? 授業の内容が理解でき、楽しく音楽活動をする事ができたか? 進歩し、伸びたと思う点は何か? 今日の授業全体はどうだったのか? など…			
課題	次の時間の課題 『今日の授業の自分から、次の授業の自分に、想いをつなげよう!』 今日の授業の目標で実現できなかったことを踏まえ、次の時間に頑張ることを考えよう。			
	印 Hirosen チェック			

★自己評価の付け方 ◎=授業内容が理解でき、十分に満足した演奏ができた! ○=興味・関心があり、その内容項目もできた。 △=興味・関心はある、がまだできない。 ×=あまり関心や意欲がなく、できない。